

2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大谷中学校

採択活動名

2021 年度海洋教育パイオニアスクールプログラム（地域展開部門）

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 「海と生きる大谷地区がより活気づくためのプロジェクトを提案し、行動しよう」	1～3年	総合
2. 天気とその変化	2年	理科
3. 生命の連続性	3年	理科

取り組みの概要

- ①総合的な学習では調べ学習に重きを置いていた学習活動からプロジェクト型の探究活動に切り替えた。地域との関わりや課題の中から、中学生である「私たちに」できることは何かを考え、提案することで、自分達が住んでいる地域を元気にするためにはどうするかを考え行動できる生徒を育てるような活動計画を立て、実践した。
- 1年生「環境保全」を着眼点にビーチクリーン活動や新聞エコバックを作成し地域に広めようとした。2年生は「資源活用」を着眼点にアワビの殻、ウニの殻、メカジキのフンを活用してアクセサリーを作った。アクセサリーは道の駅で共同で実施したスタンプラリーの商品として、活用した。また、メカジキやマンボウを使ったメカカツサンドやマンボウバーガーなど地域の飲食店と協力して商品化を目指し、メカカツ弁当やメカカツサンドなど商品化を実現させた。3年生は「経済活性化」を着眼点に海藻を肥料として育てた芋でポテトチップスを作り販売すれば地域経済の活性化につながると考え、道の駅に提案した。また、大谷のキャラクターを作って、PRすれば経済効果をもたらすのではないかと考え、道の駅に提案した。
- ②中学2年生の気象分野では副読本を活用しながら、海流の学習を関連付けて実施した。
1. 温かい水と冷たい水は混ざるかどうか
 2. 地球温暖化により海水の温度差がなくなっている
 3. 温度差がなくなると海流が生じなくなる
 4. 海流が生じなくなるとどんな問題が起こりそうか？
- ③中学3年生の生物分野では、有性生殖をウニを用いて行い、磯焼けの原因となるウニの生態について学習した。お茶の水大学湾岸研究センターから教材提供を受けて、有性生殖の授業を実施している。有性生殖を実際に観察するだけでなく、発生過程の観察を通して身近なウニの生育状況を知ることにつなげた。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへ貼り付けた場合も、別ファイルでの添付をお願いします)